



武蔵野市の文化財を 新たに二つ指定しました



武蔵野市教育委員会は7月2日、吉祥寺本町の蓮乗寺にある「仙路翁墓碣碑」と、境南町の杵築大社にある「武蔵野八景碑」を、市の文化財として指定しました。
いずれも武蔵野市域の文化を伝える貴重な歴史的資料です。

吉祥寺村で人々に慕われた 松井十郎左衛門(仙路翁)の筆子塚



仏種山 蓮乗寺
吉祥寺本町1-10-12

蓮乗寺内には、松井家の墓とは別に、この筆子塚が建てられています。



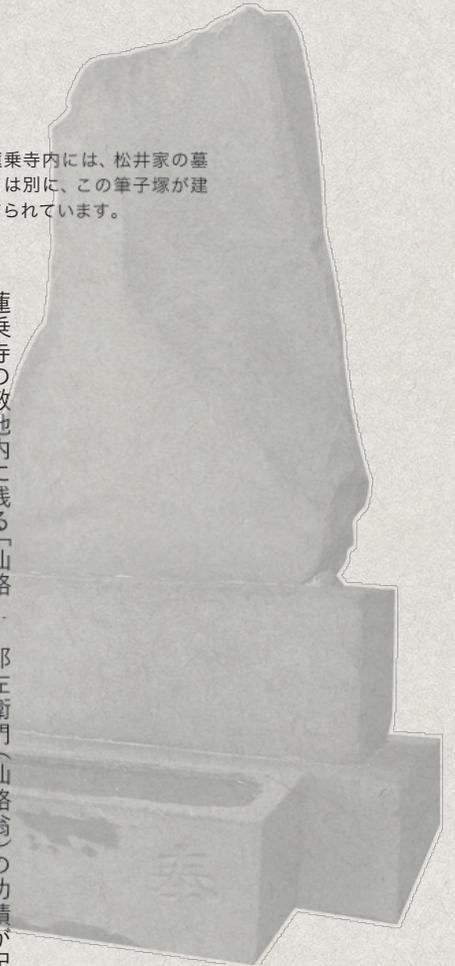
碑には「隣里・他郷亦景慕シ、之ヲ敬フコト其村長ノ如シ」とも刻まれ、松井十郎左衛門が吉祥寺村だけでなく近隣の村人にも慕われていたことが分かります。

蓮乗寺の敷地内に残る「仙路翁墓碣碑」は、天保6(1835)年に建立された筆子塚です。筆子塚とは、寺子屋や家塾の弟子(筆子)たちが、亡くなった恩師をしのんで建てた墓や塚のこと。碑文には、吉祥寺村の名主として、毎日村中を歩いて老人や子どもを気遣い、代官と村人との間に立って活躍した松井十



石碑の上部には、右から左への横書きで「仙路翁墓碣銘」と刻まれています。

郎左衛門(仙路翁)の功績が記されています。筆子塚は全国的に存在するもので、武蔵野市域においては4基の筆子塚が確認されていますが、この「仙路翁墓碣碑」は特に情報量が多く、当時の吉祥寺村を知る歴史資料として大変貴重なものです。



旧境村の人々が愛した 景色八選を刻んだ記念碑



杵築大社の日露戦役記念碑の横で、
大樹の陰に建っています。



杵築大社
境南町2-10-11

問い合わせ先
武蔵野ふるさと歴史館
☎0422 (53) 1811

武蔵野八景碑は明治32
(1899)年に、主に旧境村の
人々により、甲武鉄道の開通、
境停車場開設10周年を記念して
建立されたと考えられています。
碑には「八景」の名称とそれ
ぞれを詠んだ漢詩が刻まれてい
ます。八景は「富峰雪霽(雪を
いただいた富士山の姿)、玉川
溝渠(玉川上水)、小金井花(小
金井桜)、武蔵野月(武蔵野から

見える月)、武蔵野雪(武蔵野の
雪景色)、武蔵野旭(武蔵野の朝
日)、境驛鉄道(甲武鉄道境停車
場)、境驛公園(境停車場の園
地)」があり、自然の風景だけ
なく、鉄道といった近代の景観
も含まれている点がユニークで
す。停車場開設による地域の繁
栄と、村人の思いを垣間見るこ
とができます。



石碑上部には右から左へ「武蔵野八景」の文
字。その下に村人たちが選んだ景色の名称が
並んでいます。



碑文は明治政府の技術官僚として全国の疎
水事業に功績を残した南尚によるもの。晩年
は境で暮らしました。

武蔵野市 文化財散策マップ



武蔵野市教育委員会

**指定文化財って
どんなもの？**

武蔵野市指定文化財とは、
昭和45(1970)年に制定
した文化財保護条例にのっ
とって市が指定した、後世に
伝えるべき歴史的なもの。地
域の歴史と文化を理解し、心
豊かな生活の源や地域の発展
の礎となるものです。有形文
化財、無形民俗文化財、有形
民俗文化財、史跡、天然記念
物があり、現在35件が指定さ
れています。

市指定文化財を巡るには、
市役所や武蔵野ふるさと歴史
館で配布している「文化財散
策マップ」がおすすめです。
市内の空間と時間を渡り歩
く、歴史の旅をお楽しみくだ
さい。